

不動産学の魅力

明海大学 不動産学部

第17回



細杉 れいみ
不動産学部3年

千葉県木更津市中島地区にある旧地区の中心にある。対して「きさて金田公民館（写真）を調査した。中らす」は三井アウトレットパークの島地区、並びに隣接する金田地区は、目の前にあり、周辺は新しい住宅地アクアラインの千葉側着岸地点に位置する。中島地区は古い町だが、が次々造られている。周辺環境の変化に合わせて、旧金田公民館はその

千葉県木更津市の新旧街区

金田地区はアクアライン開通や、それに伴う大型商業施設の集積に併せて開発が進められている新しい町である。

旧金田公民館はRC造二階建て、

役割を終えたのだらうと考える。

築47年の建物である。2019年に

しかし、今回、旧金田公民館を調

金田地区に誕生した木更津市金田地域交流センター「きさてらす」の運営が始まる前まで利用されていたが、その機能は「きさてらす」に引き継がれ、閉館した。

きさてらす

そこで、旧金田公民館を古い建物

旧金田公民館は高齢化が進む中島

が集まる中島地区の避難所兼コミュ

ニティ施設にできないかと考えた。新しい町に「きさてらす」ができた一方で、古い町にも古い町なりのコミュニティ施設が必要ではないか。中島地区は圧倒的に高齢者が多い。そこで、旧金田公民館に「岩盤浴」を設置してはどうか。岩盤浴には銭湯と似た雰囲気があるが、銭湯よりも維持・管理がしやすい。また、銭湯とは違い男女混合の空間に

できるので「コミュニティの場にもなりやすい。更に「まんが図書

旧公民館を2地区交流の拠点に

書館」を併設し、中島地区だけではなく若い世帯が多い金田地区の子供たちも誘引する。一人でも遊ぶことができる親も安心な公共施設にすることがポイントである。子どもを介して2つの地区の交流の輪が広がることを期待する。

【教員コメント】

岩盤浴もまん

が図書館も「皆で何かをする」ではなく「一人でも楽しめる」用途であり、人が自然に集まり緩いコミュニティが誘発されていく。細杉さんの提案はここが面白い。「きさてらす」は皆で行うサークルイベントが多いが、高齢者が多い町には日常の中で緩くつながれる仕掛けが必要だと考える。（藤木亮介）

